

bauma 2019 ファイナルレポート

第 32 回 国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車輛・建設機器専門見本市
2019 年 4 月 8 日～14 日
ドイツ / メッセ・ミュヘン

2019 年 4 月 14 日

bauma は記録を塗り替え、62 万人以上の来場者を魅了

Summary

- 63 か国から約 3,700 の出展企業
- ヨーロッパ以外からの来場者が飛躍的に増加
- 出展企業にとっての優れたビジネスと受注殺到の場に



Facts & Data

会 期	4 月 8 日(月)～14 日(日) 9 時 30 分～18 時 30 分 4 月 13 日(土) 8 時 30 分～18 時 30 分 / 14 日(日) 9 時 30 分～16 時 30 分
会 場	メッセ・ミュンヘン
主 催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
後 援	VDMA - ドイツ機械工業連盟 CECE - 欧州建設機械工業連合会
規 模	614,000 m ² (2016 年: 605,000 m ²)
出 展 社 数	63 ヶ国から 3,700 社 (2016 年: 58 ヶ国から 3,425 社)
来 場 者 数	200 ヶ国から約 620,000 人 (2016 年: 219 ヶ国から 583,736 人)
主 な 出 展 品	建設機械・車輛・機器・工具、リフト、コンベヤー、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、原料抽出・処理・鉱業機械、選鉱、建材用セメント・石灰・石膏製造、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材・石膏・石膏ボード製造機械・システム、アスファルト・予混合ドライモルタル・漆喰・スクリード・石灰砂岩・発電所残渣使用建材製造機械・プラント、駆動・流体技術、発電ユニット、付属品、予備・部品、サービス、検査、測定、プロセス制御技術 など
専 用 U R L	www.bauma.de (英語 / ドイツ語)

建設機械・建築資材製造機械・鉱業機械・建設車両および建設機器の専門見本市である bauma 2019 は、200 か国以上から 620,000 人を超える来場者を迎え、65 年にわたる開催史上最大の見本市となった。来場者数は前回の 2016 年開催時より約 40,000 人も増加した。250,000 人以上がドイツ国外からの来場者であった。

ドイツに続き来場者の多い国のトップ 10 は、オーストリア、イタリア、スイス、フランス、オランダ、ロシア、スウェーデン、チェコ、ポーランド、イギリスの順である。ヨーロッパ以外からの来場者数も顕著な伸びであった。中国、オーストラリア、日本からの来場者が大幅に増加した。中国からだけでも 5,500 人以上の来場者であった。出展社数も 63 か国から約 3,700 社に上り、記録を更新した。bauma は史上初となる 614,000 m²の展示スペースを使用した過去最大の見本市となった。



今回の見本市開催中に出品企業は膨大なイノベーションと新製品を紹介した。例えば、Zeppelin や Caterpillar は、20 以上もの世界初公開となる製品を披露した。見本市で行われたビジネスもまた良い結果となった。多くの出品企業は、投資意欲の高い会社が多かった。出品企業にとってこの見本市での売上高が参加史上最高となったことにより、bauma 全体としての発注記録は大きく押し上げられた。

イノベーションプラットフォームと経済的原動力

メッセ・ミュンヘン会長兼 CEO のクラウス・ディトリヒは、見本市での円滑な運営や出品企業の常に前向きな意見のおかげで、bauma 2019 は非常に満足のいく結果となったことについて、「この業界にとって、bauma は世界中で最も重要なプラットフォームであり、また経済の原动力的存在であることが、今回明らかとなった。特に、デジタル化によって引き起こされる技術的一大変革の時代に、bauma は、この業界に安全と信頼を提供する存在なのだ。開催 7 日間で生まれた需要の勢いをもって、企業は経済の減速にも速やかに対応できるだろう。bauma 2019 は、業界全体のビジネスチャンスと素晴らしい将来の展望を明白にした」と語った。

Hermann Paus Maschinenfabrik 代表取締役で bauma 諮問委員会議長 Franz-Josef Paus 氏は、当見本市の特色について「bauma は、60 か国以上から出品企業と 200 か国以上からの来場者という実績によって、技術的多様性、創造力、パフォーマンスを巨大な国際的ビジネスの世界に示すことができる業界プラットフォームである」と語った。

出品企業にとって「最も成功した bauma」

この喜びを何度か表明したように、出品企業にとって、bauma 2019 は大成功であった。Masa 社代表取締役 Frank W. Reschke 氏は「史上最も成功した bauma であった」と表現した。Martin Herrenknecht 氏は、これに同意して「bauma は毎回特別な存在であるなか、2019 年開催は、弊社にとってすべての点で過去最高であっ



たと述べ、Wirtgen グループの CEO である Domenic G. Ruccolo 氏は、bauma2019 について「Wirtgen グループの歴史史上最も成功した見本市である」と評価した。bauma のパートナー国であるカナダから出展した多くの会社も、同様に高く評価した。

Smith of Serious Labs 社の Melinda Zimmerman 氏は、「bauma は、弊社が今まで知り得なかったエキサイティングな機会を与えてくれる。ただただ嬉しくて仕方ない状況だった」と語った。

素晴らしいビジネスプラットフォーム

繰り返しになるが、多くの出展関係者が述べているように、bauma は素晴らしいビジネスプラットフォームである



ことが証明された。Liebherr-International 社の取締役の一人である Andreas Böhm 氏は「弊社は世界中から受注し、多くの取引関係を結んだ」と述べた。PERI 社マーケティング・営業部長 Alexaner Schwörer 氏も、「多くの優良な注文を受けた」と、そして、Zeppelin Baumaschinen 社の Fred Cordes 氏も、「多くの取引を成立させた」と語った。ドイツ機械工業連盟建設機器・建築材料部門長の Joachim Schmid 氏は、出展関係者との会話の中で新しく学んだことが一つあるとして、「多くの出展関係者は、各会社のブースを訪れる人の購買思考に特別の関心を持っていた。それは、経済の継続的安定に対する期待感だ」と語った。

成功の礎となる業界関係来場者

bauma 2019 が素晴らしい見本市となったのは、世界中あらゆるところからミュンヘンに集まってきたという、ただ単に来場者の国際性の理由だけではない。Martin Herrenknecht 氏は、「弊社のターゲットグループ企業から、多くの上層意思決定者の来場があったことは、格別に喜ばしいものであった」と述べた。

ZF Friedrichshafen 社の広報担当広報部長 Gernot Hein 氏は、「具体的な商談の数やレベルも相当高かった」と語った。そして、Magni Telescopic Handlers 社社長の Riccardo Magni 氏は、見本市の素晴らしい功績について、「経験豊富で専門性に優れた来場者と行き届いた運営が、bauma 成功への礎となっていた」と語った。

デジタル化の大きな流れ

今年の bauma における最大の注目点は、明らかに持続可能なデジタルソリューションであった。PALFINGER 社 CEO の Andreas Klauser 氏は「どの出展企業も、デジタル化が建設機械業界における『メガトレンド』であると認識している」と述べた。

建設機械には、データ収集・分析用センサーと通信インターフェースが標準装備となってきた。全体的にみて、機器や車両は、より巧みに、より静粛に、そしてより効率的になってきている。現在、多くの人が電気駆動システムとハイブリッド駆動システムを持っている。DEUTZ 取締役会会長の Frank Hiller 博士は、「電気駆動システムに対する顧客の関心は、過去に例を見ないくらい高かった。それは bauma 2019 全体の共通認識であった」と語った。見本市開催の前夜、最も関心を引くいくつかの技術革新に、bauma イノベーション賞が授与された。

政治指導者いわく、「bauma はドイツを魅せる場」

多くの高官政治指導者の来場によって、bauma は格別に重要な見本市であるという評価が得られ、それは業界の枠をはるかに超える評判となった。ドイツ連邦経済エネルギー大臣 Peter Altmaier 氏は、bauma 開会式で、「この見本市は魅力あるドイツ産業の縮図を展示する場である」と語った。バイエルン州首相 Markus Söder 氏は、「bauma には毎回訪問していて、私にとって欠かせない大切なものとなっている」と述べた。バイエルン州国家開発エネルギー省副大臣 Hubert Aiwanger 氏も、見本市の幅広い視察ツアーに参加した。bauma のパートナー国であるカナダからは、元外務大臣の Stéphane Dion 大使とバイエルン州のパートナー州であるケベック州のエネルギー天然資源大臣 Jonatan Julien 氏が、カナダ代表として来場した。中国からは、中華人民共和国商務副大臣 Wang Bingnan 氏が率いた代表団が来場



した。

7 日間の「The place to be(一見の価値ある場所)」

bauma への来場者は、その開催中 7 日間、ミュンヘンに新しい強力なアクセントを付けることとなった。いたるところに世界中からたくさんの人が訪れていた。Riem にある見本市会場のホール内と野外展示エリアの両方で、このことが顕著であった。来場者は、大手企業が車両と機械を展示している素晴らしいホットスポットに押し寄せた。このような業界の注目に加えて、bauma はセルフーターや大観覧車を備えた体験と冒険が味わえる巨大スペースでもあった。ANMOPY スペイン建設・鉱業機械製造協会会長の Jorge Cuartero 氏は、「一週間ずっと、bauma は『the place to be(一見の価値ある場所)』であった」と、締めくくった。



bauma 2019 主な日系出展社(50音順)

いすゞ自動車(株)、インフラテック(株)、ウエダ産業(株)、ULTRATOR(株)、栄光マシーンセンター(株)、オカダアイオン(株)、(株)加藤製作所、(株)カワサキプレジジョンマシナリ、(株)クボタ、コベルコ建機(株)、(株)小松製作所(コマツ)、(株)コンセック、住友建機(株)、(株)タイガーマシン製作所、(株)竹内製作所、(株)タダノ、(株)鶴見製作所、(株)トプコン、トヨタ工機(株)、長野工業(株)、(株)中山鉄工所、日本仮設(株)、日本ニューマチック工業(株)、本田技研工業(株)、日立建機(株)、住友重機械建機クレーン(株)、ブリヂストン(株)、古河ユニック(株)、古河ロックドリル(株)、北越工業(株)、(株)前田製作所、マックス(株)、三笠産業(株)、三菱マテリアル(株)、(株)諸岡、ヤマモトロックマシナリ(株)、ヤンマー(株) ほか

次回のbaumaは2022年4月4日から10日にかけて、ドイツ・ミュンヘンで開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページwww.bauma.deで

次回予告

- 建設機械関連見本市 -

bauma CTT RUSSA 2019	2019 年 6 月 4 日～7 日 於:ロシア / クロックスエキスポ https://bauma-ctt.ru/en/ (英語 / ロシア語)
bauma China 2020	2020 年 11 月 24 日～27 日 於: 上海国際見本市会場 www.bauma-china.com (英語 / 中国語)
bauma CONEXPO INDIA 2020	2020 年開催予定 於:Gurgaon / Delhi www.bcindia.com (英語)
bauma CONEXPO Africa 2021	2021 年 10 月 13 日～16 日 於:Johannesburg www.bcafrica.com (英語)

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズパーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)